

2022 教室・講座・イベントの成果報告

主催者名	はまぎん こども宇宙科学館・洋光台サイエンスクラブ「環境体験教室」			
題名・副題	トンボのヤジロベーと小鳥だるまを作ってバランス実験			
月日・時間	2022年7月3日(日) 10:00~12:00			
開催場所	はまぎん こども宇宙科学館 B2F・特別展示室			
部会・講師名	自然環境部会 武澤研二	参加数	15名	講師数 8名
写真・画像				
	重心移動を体感して歩く実験		小鳥の起き上がり小法師を作りました	
				
	体重計に乗って左右に重心移動体験		指先にトンボのヤジロベーがとまった	
成果解説	<p>この教室は、ヤジロベーや起き上がり小法師の工作と体重計を使った重心移動や歩く実技で重心の働きとバランスの大切さを学ぶ体験授業です。更に、動物は日々生きるため、命を繋ぐため移動することや動物が暮らす多様な自然環境の大切さも考えます。</p> <p>参加児童がみんなで行う体感実験で「歩く」時の重心移動を実感しました。2台の体重計に乗って体を左右に寄せる体感実験「体重計シーソー」では自身の重心の移動を体重の測定値の変化として目で確かめました。「小鳥だるま」の工作ではワッシャーの錘を付けた瞬間に起き上がり小法師になる、ちょっとびっくりの重心移動の効果を確かめました。「トンボのヤジロベー」の工作は、クリップの錘で重心を下げ、翅の位置も工夫してバランスを取り全員がヤジロベーに出来ました。その後、自由に色塗りのオリジナルの自作トンボのヤジロベーも楽しく作りました。動物は餌を探す、逃げる、巣に餌を運び、仔を育てるなど、生きるため、命を繋ぐため移動すること、そのためにはいろいろな環境が必要であることを学びました。地球温暖化の季節変化への影響「早まった春」の生き物のつながりへの影響を考えました。「これからも、動物たちが暮らしてゆけるよう、自然環境を大切にしましょう」とメッセージを伝えました。</p> <p>授業のアンケートではほとんどの参加児童から「楽しかった」との感想を得ました。</p>			